

つながり

茅ヶ崎市立病院

特集 特定看護師

医療の現場を支える新たな力

52
2025.10

医療需要が高まる中、医療従事者がチームで連携し、効果的に医療を提供するため、看護師が医師に代わって特定行為を行う「特定行為研修」の制度が整備され、実践しています。当院では、写真に写っているスタッフを含む9名の特定看護師が、安全かつタイムリーに医療を提供すべく最前線で活躍しています。



▶当院で活躍する特定看護師の面々。
特定看護師はグレーのユニフォームを
着用しています。

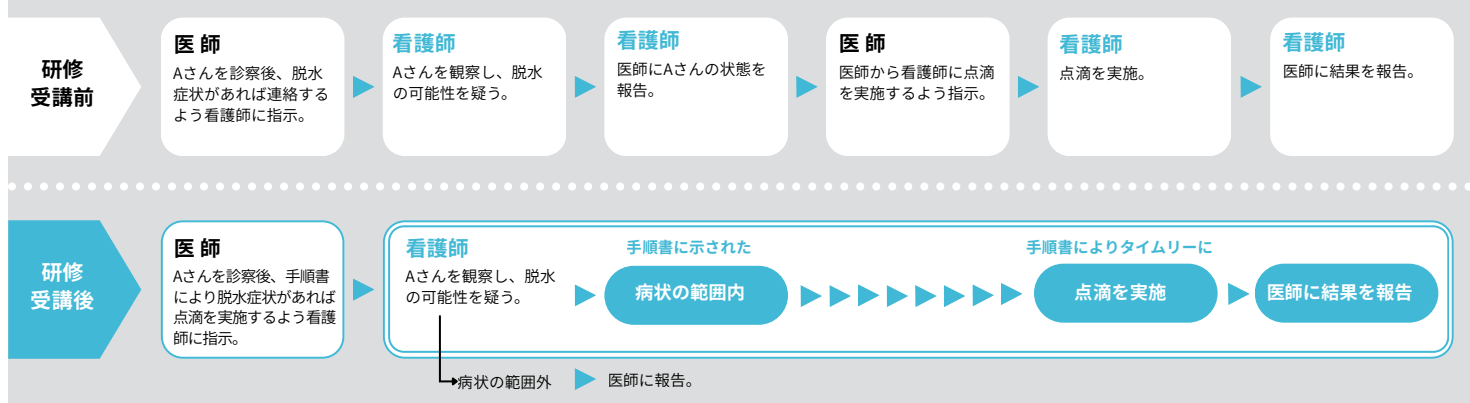
看護職員の特定行為とは？ | 医療の現場を支える新たな力

特定行為とは、高度で専門的な知識・技能を特定行為研修により身につけた看護師（以下、特定看護師）が、医師の指示のもと手順書に基づき行う診療の補助です。看護師が医療チームの一員として、患者さんの状態に応じ、迅速かつタイムリーに適切な医療を提供することができます。

38の特定行為は、21の特定行為区分に整理されており、特定行為研修を修了した看護師は特定行為ができるようになります。当院は2024年に厚生労働省より「特定行為研修指定研修機関」として指定を受け、特定看護師の育成を行っており、これらの取組を通じて患者さん中心のより質の高い医療を提供できるよう環境を整備しています。

▶研修を受けるとこのようになります

特定行為の実施の流れ (脱水を繰り返すAさんの例)



職員インタビュー | 特定看護師として活躍する3名に話を聞きました！



高度なスキルを身につけて
安全で質の高い医療を

感染管理室担当長 看護師長
感染管理認定看護師／特定看護師
蘭賀都己

特定行為研修修了区分 2区分4行為

- 創傷管理関連
- 栄養および水分管理に係る薬剤投与関連

研修受講のきっかけ

感染管理認定看護師として院内の感染防止対策に日々取り組んでいるのですが、特定行為の一つである「創傷管理関連」の研修を受け実践することで「感染を起こさないためのケア」の提供につながると考え、研修受講を決めました。

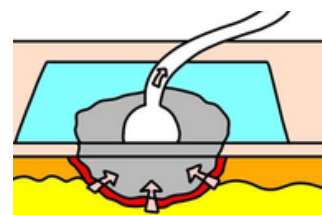
傷が早く、きれいに治る過程に貢献しています。

特定行為をどのように実践していますか？

創傷管理を専門とする認定看護師と協働しながら手術後の傷や褥瘡（床ずれ）の処置を主に実施しています。これらの特定行為を患者さんにタイムリーに実施することで、感染の防止や傷の早期治癒に貢献することができ、患者さんが早期に回復していく過程に携わっていると実感しています。

今後の展望を教えてください。

現在は手術後からの特定行為を中心に実施していますが、より幅広い領域に対応できると患者さんが早期に回復できる一助になるのではないかと考えています。今後も安全で質の高い医療の提供を目指していきたいと思っています。



創傷管理関連の特定行為では、創傷を密閉し、吸引装置で陰圧をかけることで、創傷治癒を促進する「陰圧閉鎖療法」も行います。

特定行為研修修了区分 3 区分 1 1 行為

- 循環動態に係る薬剤投与関連
- 呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連
- 栄養および水分管理に係る薬剤投与関連

研修受講のきっかけ

新人看護師の頃、患者さんの急激な病状悪化の際に自らの知識や技術が不足していることを痛感し、専門性を高めることの必要性を感じました。特に当院は救急病院であるため、救急体制の強化に貢献したいという思いで認定看護師/特定看護師の資格取得を目指すようになりました。

専門性を高めて 救急体制の強化に貢献したい

集中治療室
クリティカルケア認定看護師／特定看護師
岡庭佑輔

救急対応の強化、救急病院としての役割を果たすために

特定行為をどのように実践していますか？

主に人工呼吸器の設定変更や循環作動薬（血圧を上げる薬など）の調整を行っています。各診療科の医師との連携を図り、患者さんによりよい医療を提供するために医師の考えを確認しながら特定行為を実施しています。また、特定行為を実施するにあたり看護の視点に加え、医学的な視点も活かしながら患者さんへの医療をチームで提供しています。

今後の展望を教えてください。

特定行為を通して、当院における救急看護や重症患者さんへの集中ケアの強化に努めていきたいと考えています。また、現在は特定看護師としての活動に加え、DMAT（災害派遣医療チーム※）の一員としても活動しています。災害時の対応も含め職員のスキル向上に貢献し、患者さんが必要な時に必要な医療を迅速かつ適切に受けられるように取り組んでいきたいと考えています。



※当院は神奈川県より「神奈川DMAT指定病院」として指定されており、2024年の能登半島地震では岡庭さんも被災地で活動を行いました。

様々な側面から患者さんに 寄り添っていききたい

3 階東病棟
糖尿病看護認定看護師／特定看護師
上田由佳

特定行為研修修了区分 2 区分 3 行為

- 血糖コントロールに係る薬剤投与関連
- 栄養および水分管理に係る薬剤投与関連

研修受講のきっかけ

糖尿病の患者さんを受け持つ機会が多い中で、糖尿病は生涯にわたって付き合っていく病気であることを実感しました。だからこそ、より専門的な知識と技術を身につけて、患者さんの生活に寄り添いながらサポートしたいという思いが強まり、資格取得を決意しました。

患者さんが安心して生活できるよう支えていきたい

特定行為をどのように実践していますか？

医師と連携しながら、血糖コントロールに関する特定行為を実施しています。専門性を高めることでチーム医療の中で役割を發揮しやすくなり、患者さんへの効果的な医療の提供に結び付いていると感じています。さまざまな領域の知識と技術を身につけ、患者さんが安心して生活できるよう支えていきたいと思っています。

今後の展望を教えてください。

糖尿病は、医療的な管理だけでなく、運動や食事といった日常生活の多くの要素が複雑に関わる病気です。そのため、病院内での看護にとどまらず、患者さんの生活全体を支えられるような関わりを目指しています。今後も地域の患者さんやご家族が安心して暮らせるように、特定行為を通じて貢献していきたいです。

ME室 臨床工学技士
太田理恵

臨床工学技士（ME）とは？ 命を支える医療機器のスペシャリスト

みなさんは、「ME（エムイー）」という言葉聞いたことがありますか？Medeical Engineer（メディカルエンジニア）の略で日本語では「臨床工学技士」といいます。手術室、集中治療室（ICU）、人工透析室など、命に関わる医療現場では、たくさんの高度な医療機器が使われています。こうした医療機器を安全に、そして正確に使えるように管理・操作しているのが臨床工学技士です。これらの機器を日々点検・保守し、「命を守る裏方」として確かな技術と知識で、患者さんの安全を支えています。

患者さんの安心安全につながるよう、医療機器と向き合う

臨床工学技士になったきっかけについて教えてください。

理系専攻だったこともあり、学生の頃から医療の分野に関心を持っていました。当時、臨床工学技士の資格制度はまだ始まったばかりでしたが、医療の高度化に伴い医療機器を専門的に扱えることに魅力を感じ、資格取得を決意しました。

実際に臨床工学技士として働く中で、病院内の様々な現場で生命維持に関わる医療機器の管理を任される責任の重さを実感しています。同時に、多くの場面で活躍できる可能性の大きさにも大変やりがいを感じています。あまり患者さんの前に出る職種ではありませんが、自分が保守・点検した医療機器が患者さんの安全と安心につながることを胸に、日々の業務に取り組んでいます。



ME室には医療機器がずらりと並んでいます

院内連携でスピーディな決定を

当院は、公立病院として医療機器の点検・保守において高い水準が維持できるよう各種点検を確実にを行っています。また、医療機器導入の意思決定をはかる委員会にも参加しており、他の医療職種と密に連携しながら、スピーディな機器導入や機器管理ができる環境を整えています。日々目まぐるしく変わる医療機器を適切に管理できるよう、機器に関する学習や自己研鑽も欠かせません。

オフはお菓子作りでリフレッシュ

忙しい仕事から離れた時間には、最近お菓子作りでリフレッシュしています。職場の仲間に配ることもあり、分量を正確に計る作業は仕事と通じる部分もあって、つい真剣になってしまいます（笑）。



「健やか・共創」

茅ヶ崎市立病院

発行・編集：茅ヶ崎市立病院 患者支援センター

発行日：令和7年10月

〒253-0042 神奈川県茅ヶ崎市本村5-15-1

TEL 0467-52-1111(代) FAX 0467-52-1133

https://hosp.city.chigasaki.kanagawa.jp



病院ホームページ

